

【取扱注意】地区別中学校卒業予定者数

現学年 卒業年月	平成29年5月1日 現在										平成29年4月1日 現在					
	高1	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
岐阜	7,965 ▲164 H29比	8,013 48 H29比	7,776 ▲237 ▲189	7,384 ▲392 ▲581	7,377 ▲7 ▲588	7,516 139 ▲449	7,364 ▲152 ▲601	7,457 93 ▲508	7,131 ▲326 ▲834	7,225 94 ▲740	6,768 ▲457 ▲1,197	6,663 ▲105 ▲1,302	6,411 ▲252 ▲1,554	6,229 ▲182 ▲1,736	6,390 ▲161 ▲1,575	6,443 ▲53 ▲1,522
西濃	3,702 ▲114 H29比	3,819 117 H29比	3,593 ▲226 ▲109	3,485 ▲108 ▲217	3,511 26 ▲191	3,503 ▲8 ▲199	3,298 ▲205 ▲404	3,359 61 ▲343	3,205 ▲11 ▲508	3,194 ▲11 ▲598	3,116 ▲78 ▲586	2,834 ▲155 ▲713	2,703 ▲131 ▲868	2,604 ▲99 ▲999	2,577 ▲27 ▲1,098	
美濃	1,488 ▲48 H29比	1,463 ▲25 ▲25	1,398 ▲65 ▲90	1,352 ▲46 ▲136	1,331 ▲21 ▲157	1,376 45 ▲112	1,341 ▲35 ▲147	1,290 ▲51 ▲198	1,324 34 ▲164	1,283 ▲41 ▲205	1,325 42 ▲163	1,169 ▲10 ▲329	1,198 ▲47 ▲319	1,037 ▲47 ▲451	990 ▲47 ▲498	1,017 ▲27 ▲471
可茂	2,141 ▲41 H29比	2,181 40 40	2,259 78 118	2,150 ▲109 9	2,008 ▲142 ▲133	2,133 125 ▲8	2,075 ▲58 ▲66	2,040 ▲35 ▲101	2,006 ▲34 ▲135	2,083 77 ▲58	2,005 ▲78 ▲136	1,989 ▲16 ▲152	1,918 ▲71 ▲223	1,889 ▲29 ▲252	1,757 ▲132 ▲384	1,777 ▲20 ▲364
東濃	3,227 ▲56 H29比	3,092 ▲135 ▲135	3,033 ▲59 ▲194	2,960 ▲73 ▲267	2,838 ▲122 ▲389	2,866 28 ▲361	2,979 113 ▲248	2,794 ▲185 ▲433	2,723 ▲71 ▲504	2,770 47 ▲457	2,708 ▲62 ▲519	2,593 ▲115 ▲634	2,480 ▲95 ▲747	2,385 ▲95 ▲842	2,277 ▲108 ▲950	2,266 ▲11 ▲961
飛騨	1,546 2 H29比	1,465 ▲81 ▲81	1,373 ▲92 ▲173	1,282 ▲91 ▲264	1,270 ▲12 ▲276	1,239 ▲31 ▲307	1,256 17 ▲290	1,313 57 ▲233	1,241 ▲72 ▲305	1,178 ▲63 ▲368	1,177 ▲1 ▲369	1,112 ▲65 ▲434	1,122 10 ▲424	1,000 ▲122 ▲546	1,015 15 ▲531	947 ▲68 ▲599
合計	20,069 ▲421 H29比	20,033 ▲36 ▲36	19,432 ▲601 ▲637	18,613 ▲819 ▲1,456	18,335 ▲278 ▲1,734	18,633 298 ▲1,436	18,313 ▲320 ▲1,756	18,253 ▲60 ▲1,816	17,630 ▲623 ▲2,439	17,733 103 ▲2,336	17,099 ▲634 ▲2,970	16,505 ▲594 ▲3,564	15,934 ▲571 ▲4,135	15,243 ▲691 ▲4,826	15,033 ▲210 ▲5,036	15,027 ▲6 ▲5,042

現在の県立高校を維持
 (平成28年度の検討まともにて言及)

- ・各校での特色の打ち出しが必要
- ・柔軟な定員設定
- ・設置学科や専門学科での募集形態の見直し

平成 31 年度実施の学科改編検討における論点整理

普通科について

現状の課題：教育課程が単一で多様な進路希望や学習ニーズに対応しにくい。

<目指す姿>

○選抜性の高い大学への進学が多い高校

→ 生徒のより高い進路目標や、探究的な学びに柔軟に対応。

○いわゆる中堅進学校

→ 四年制大学から専門学校まで、多様な進学希望に細かく対応。

○進路先が多様な高校

→ 学習意欲を喚起する科目を設定し、多様な進路希望に細かく対応。

実現に向けた活性化策：単位制の導入

単位制導入により、教員配置の増加が見込まれ、

- ✓ 生徒の進路志望や興味・関心などに応じた多様な科目設定や授業展開が可能
- ✓ 生徒が主体的・対話的に深く学べる少人数による授業展開が可能
- ✓ 担当時間や担当生徒数が減り、働き方改革にも寄与

(参考)	H30 年度時点
学年制普通科	31 校
単位制普通科	7 校 (岐阜、各務原西、本巣松陽、不破、東濃、多治見、中津)

専門学科について

現状の課題

○1 学科 1 学級となっている学科が多い。

(例：高山工業 機械 40 電気 40 建築インテリア 40 電子機械 40)

→ 学科を無くさないで学級減できない、普通科で学級減に対応すると県内の専門学科の割合がこれまで以上に増加、進路希望とのミスマッチ

○入学段階で学科を決定するため、進路希望と教育内容のミスマッチが起きやすい。

○県内での小学科名称が統一されておらず、学ぶ内容が分かりにくい。

解決に向けた活性化策：学科群による募集、柔軟な入学定員設定

- ✓ 学科数を維持したまま入学定員の減少が可能
- ✓ 1 年生で学科群に関する基礎科目を学び、進路目標や自己の適正を見定めた上で学科選択が可能
- ✓ 学科群による募集にあわせ、小学科名称を統一

(参考) 岐阜工業高校における学科群による募集

1 年生	2 年生、3 年生	1 年生	2 年生、3 年生
航空・機械工学科群 120	航空機械工学科 電子機械工学科	建設・デザイン工学科群 80	建設工学科 デザイン工学科
電気・電子工学科群 80	電気工学科 電子工学科	化学・設備工学科群 80	化学技術工学科 設備システム工学科